

# 令和6年度 学校教育アンケートの結果

令和7年2月27日 吹田市立高野台小学校長 村上 弘明

保護者のみなさま、今年度も学校教育アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。令和5年度と比較し集計結果をまとめましたので、下記の通り報告いたします。

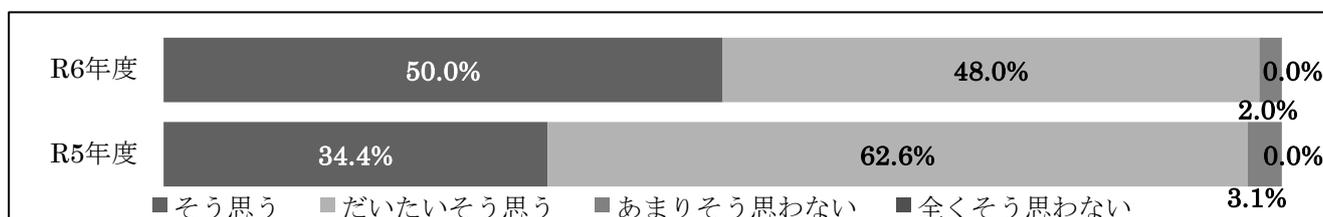
今年度から、オンラインでの回答方式に変更しました。**70.2%**（回答数 198 児童数 282）の保護者の方に回答をいただきました。たくさんのご回答、感謝申し上げます。一方で、回答率は昨年度に比べ大きく下がってしまいました（▲24.0%）。変更初年度の影響があったかもしれません。

今年度から、アンケートの設問への回答文言を一部変更しました。昨年度まで「強く思う」だった文言を「そう思う」に変更しています。全体的な肯定的回答・否定的回答の割合を見るには影響ありませんが、昨年度と今年度のグラフを比較したときに、肯定的な回答の中では文言の違いによる割合のばらつきが出ていると思われます。ご了承ください。また、文章記述での一部厳しいご意見もいただきましたが、教職員全体で真摯に受け止め、学校力の向上、教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、高野台小学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

## 【保護者アンケート】

1. 学校は、学校だより・学年だよりやホームページ等で教育内容をわかりやすく伝えている。



コロナ禍により、懇談等の機会がなかなか設定しにくい状況の中、特に情報発信の機会の重要性を感じ、学校だより・学年だより・ホームページについても見直しを図ってきました。肯定的な回答の割合は**98.0%**で昨年度よりやや増加し、一定の手ごたえを感じています。今後も日々の学習や教育活動について発信の充実を図っていきます。

2. 本校の学力向上の取り組みは、子どもにとって意義がある。



はなまるタイムに加え、昨年度まで夏休みに行っていた学習会を、今年度は二学期初めを4時間授業とし、その放課後に設定することで、効果的に実施できました。12月以降、4・5・6年生で、算数教員が加わった習熟度別指導が実施できています。確かな学力の定着や向上をめざした取組をさらに進めるとともに、取組内容について各家庭への周知と理解、協力を得られるように努めます。

3. 子どもは、楽しく学校に通っている。



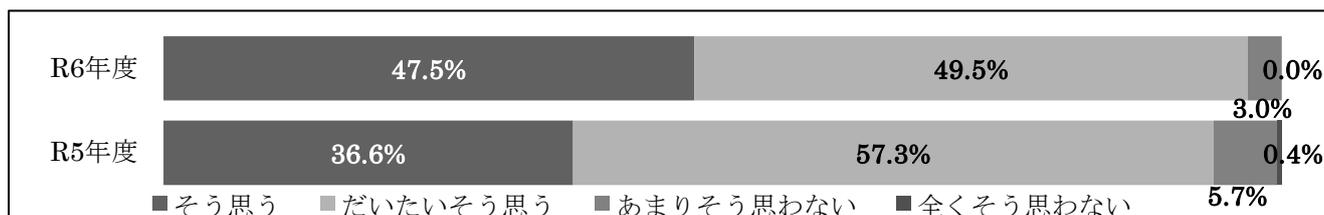
肯定的な回答の割合は**96.5%**と、昨年度とほぼ同じ割合です。ご家庭でしっかりと送り出してもらっているからこそだと思います。今年度も、子ども主体をキーワードにさまざまな取り組みを進めてきました。子どもたち自身は単純に楽しいだけではないところもあるのだと思います。今後も、日々の学校教育活動を一層充実させ、よりよい人間関係を築けるよう子どもたちの意識を高めていきたいと考えます。

#### 4. 学校は、楽しくわかりやすい授業に力を入れている。



肯定的な回答の割合は、昨年度より6%高くなっています。学習活動や教材の工夫、一人一台の学習用端末（iPad）の効果的な活用、主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくりなど、よりアップデートしていこうと研究しています。今後も、教員の授業力を高めるとともに、個に応じた指導や習熟度別指導の充実など学習形態や指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。

#### 5. 教職員は、子どもを理解している。



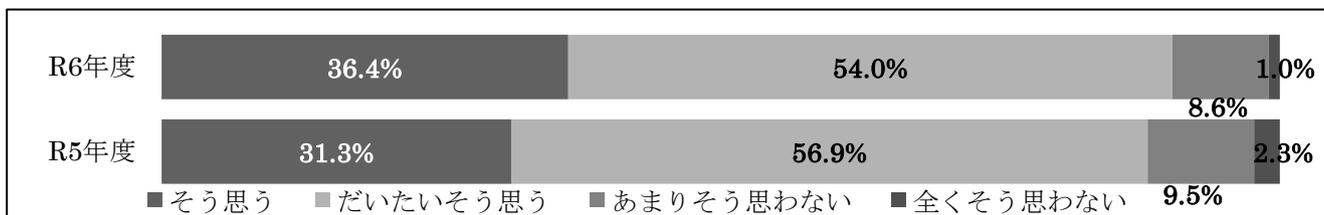
肯定的な回答の割合は、**97.0%**と昨年度より3%高くなっています。子どもたちの回答ではやや下がります。差については受け止めていきたいです。家庭と連携しながら、教職員がていねいに子どもたちを見取るとともに、より理解を深めていきたいと考えます。

#### 6. 教職員は、子どもの能力や努力を適切、公平に評価している。



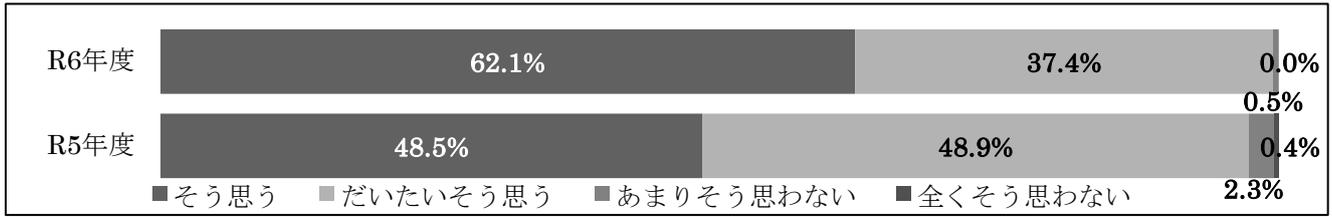
肯定的な回答の割合は昨年度よりさらに高くなっています。コロナ以降、肯定的な回答の割合が上がっている項目です。子どもたちのがんばりをよりていねいに見取っていきたく思い取り組んできました。子どもたちと向き合い理解を深めるとともに、学習状況や学校生活の様子などを適切に家庭と共有していけるように努めます。

#### 7. 「あゆみ」は、子どもの学校生活の様子や学習の理解度がわかりやすく表されている。



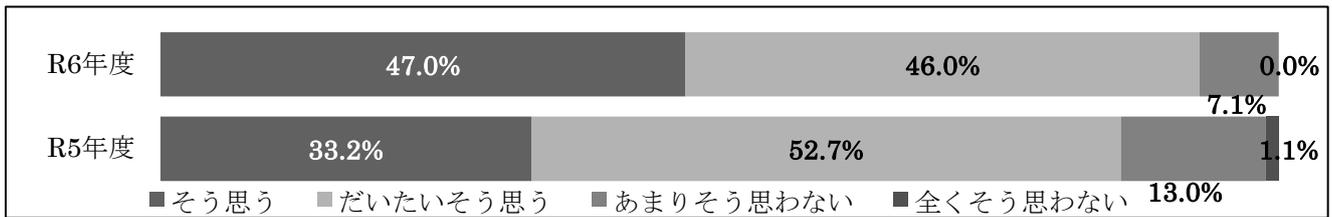
R2年度、新学習指導要領のスタートに伴い、「あゆみ」（評価）の大幅な改訂を行いました。肯定的な回答の割合は**90.4%**と9割を超えましたが、アンケート記述では、「あゆみ」の項目についてご意見をいただきました。ここからも推移に注目し、声を拾っていきたくと考えています。今後も、「あゆみ」（評価）の見方や規準について、資料をより分かりやすく充実させるとともに、学年だよりや学級懇談等を通じてお伝えしていきます。また、評価の規準を子どもが理解することで、自身の課題の克服につながるように努めます。

8. 運動会、校外学習、林間学習、修学旅行などの学校行事は、  
積極的に活動できるように、工夫されている。



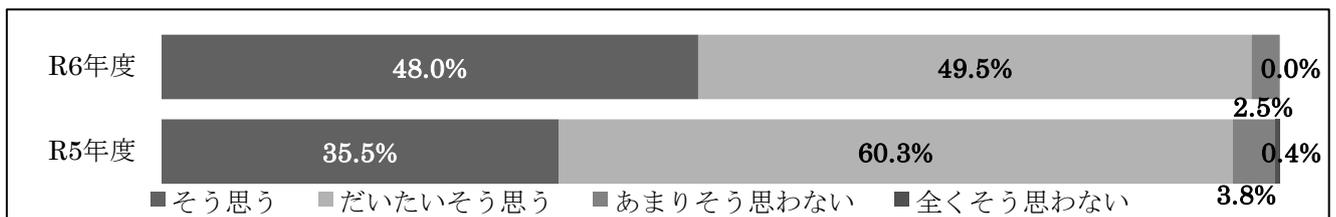
肯定的な回答の割合は**99.5%**となりました。「子ども主体」をキーワードにしている本校にとって、学校行事は大きな教育的価値のあるものだと考えております。また、子どもたちがより活躍できるよう、内容の見直しも行っています。今後も、保護者・地域の理解や協力を得ながら、実施時期の見直しや内容の精選・工夫改善に努め、児童が意欲的に取り組めるように検討していきます。

9. 学校は、家庭への連絡や意思疎通等、きめ細やかな対応をとっている。



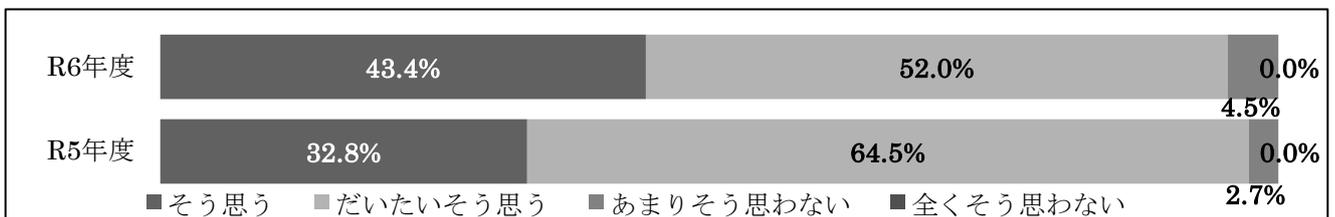
肯定的な回答の割合が、昨年度は下がりましたが、今年度は9割を超えました。コロナ禍以降、家庭への連絡や意思疎通について、よりていねいな対応を心がけたいと取り組んできたところで、一定のご理解をいただいていると考えております。再度ふり返り、より適切かつ細やかな対応に努めていきます。

10. 学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。



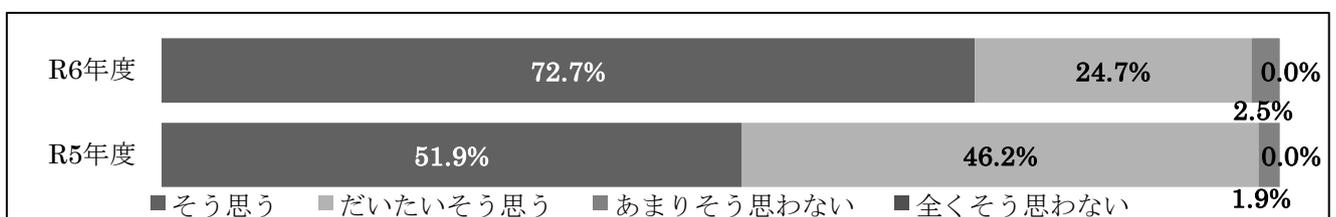
全市的に「いじめ予防授業」がスタートして5年。R3年度には高野台中学校ブロック3校で、研究推進校として、市に先んじたカリキュラムにも取り組みました。今年度、肯定的な回答の割合が97%を超えました。いじめは起こりうるものとして、早期発見・早期対応を心がけています。今後、一層いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいきます。

11. 学校は、きまりを守る態度を育てようとしている。



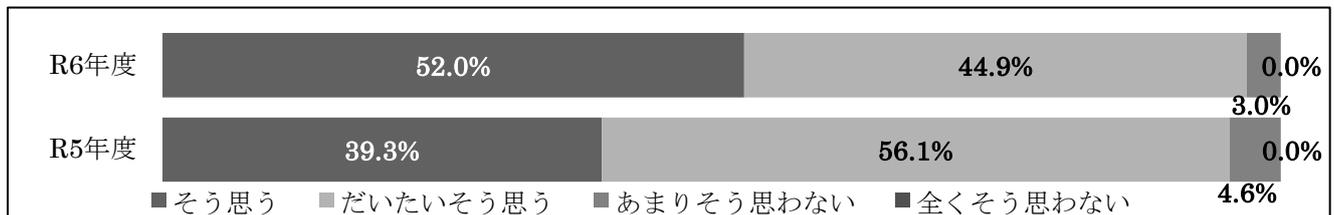
規範意識の醸成という点から設定した項目です。肯定的な回答の割合が**95.4%**と、わずかではあります。今年度から下がりました。今後もきまりを守る態度の定着を図っていきます。

12. 学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている。



土曜参観を含めた年間4回の授業参観の中にプール参観を位置づけました。2回に分けた音楽会、持久走記録会等、試行してみたものもありました。肯定的な回答の割合は **97.4%**とほぼ変わりません。内容等についてはよりよいものにしていけるように考えたいです。今後も、できるだけ子どもたちの学習の様子を参観いただけるように、学校行事の実施時期などを検討していきます。

### 13. 学校は、地震や台風等の災害時や緊急時の行動について、子ども・保護者に伝えている。



近年、地震・台風などの自然災害に係る緊急的な対応が求められています。そうしたことから設定した項目です。すべて全校規模での避難訓練が実施できました。内容をふり返り、訓練としての価値を高めていきます。また、迅速かついねいな対応に努め、反省点や課題を検証していきます。

#### 【保護者アンケート記述欄について】

保護者のみなさまからの温かい言葉、そして、ご意見やご指摘をいただき、感謝いたしております。すべてのご意見に回答をできておりませんが、保護者のみなさまの貴重なご意見を真摯に受け止め、本校の教育活動をよりよいものにしていきたいと考えます。ご理解のほどよろしく願いいたします。子どもたちが心豊かで健やかな成長を促すことのできる学校体制づくりを進めるためにも、学校、地域、すべての保護者のみなさまで高野台小学校のすべての児童を見守っていきたく思います。

以下に、項目ごとに主なご意見を挙げております。項目ごとに学校としての考えを総括的に記述いたします。

#### <学習用端末 (iPad) について>

- ・PowerPoint を授業で使っているようで、私にも教えてくれます。デジタルネイティブの彼らにとってとても有意義なことだと思いました。ありがとうございます。
- ・家庭のゲーム機は時間設定などを系統的にできるのに対して、タブレットは声かけぐらいしかできず、気付くと何時間もゲームなどしていることがありどうしたものかと気になっています。
- ・iPad を使い過ぎて視力低下が心配です。
- ・事実と相違する部分があるかもしれないですが、授業中や休み時間に遊びの用途でタブレットでゲームやネットサーフィンを長時間していると聞いています。目的及び時間の制約がない状態でのタブレット利用は、学習面や生活面で悪影響が大きく、良い影響を上回るものと思います。例えば、タブレットの利用は原則授業中に限る、授業用途以外の利用は教師の許可を都度とるなど、なんらかの制約が必要と考えます。

ICT機器の活用、特に学習用端末 (iPad) の活用についても、学習と同様に、各学年で系統立てて積み上げていく必要があります。本校でも6年間を見通した計画を目安に、1年生でiPadを初めて使ってみるところからスタートしています。

iPadについては使用時間制限を吹田市全体で本体に設定することは現状できません。個別のアプリを使っての設定となります。設定方法などの詳細は、今年度の7/19にさくら連絡網にて配信していますが、来年度の4月にも再送信いたします。

iPadは吹田市から学習ツールとして子どもたちに貸与されているものであり、位置づけは、あくまで学習ツール、他の勉強道具と同じ位置づけです。使用する上では、約束(ルールブック)を守ったうえで使います。「iPadは絶対に必要なものではない。ルールが守れなかったら、守れるようになってから使ったらいい。」というのが大前提で、子どもたちにも伝えています。ただ、他の勉強道具と同じように、遊ぼうと思えば遊べてしまうし、完全には把握しきれません。子どもたちが自覚して使っていけるように、ルールの定着を図っていきます。

#### <参観授業について>

- ・普段の授業の様子を見てみたいと感じています。子どもたちが自然に学んでいる日常の雰囲気を感じることができると、より一層学校生活を理解することができると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

・授業参観について、主に図工の時間が多いような気がする。準備をしている様子や話を聞いて制作にどれほどの時間がかかるのかは見ていて分かりやすいのですが、国語や算数などの授業態度や理解の追いつき方、学校での指導方法を実際に見れたら家で質問された時も学校のやり方に合わせて教えられるので子どもの理解力は上がるような気がします。

・可能ならばオープンスクールがあれば嬉しいです。他の学年も自由に見れたらいいなと思います。

授業にはいろいろな教科、さまざまな学習形態があり、参観の授業はたくさんある授業の中の一場面になります。上記のような普段の学習のよさもあり、全員の順番がある発表形式の授業にも好意的な感想をいただきます。子どもたちのいろいろな様子を見てもらえるように内容や方法を設定していきたいです。また、参観の機会だからこそ効果が期待できる特別な内容については、今後も設定させてもらいたいと考えています。

#### <学力向上の取組について>

・授業が理解できていない子に対する取り組みは素晴らしいと思いますが、一方理解している子にとっても向上できたらいいかなと思いました。

・全体的な授業時間数が減少しているので、現在取り組んでいる『朝のモジュール』や『はなまるタイム』の内容を応用問題や他教科の追加学習などもう少し充実度を高めて頂きたいです。

朝のモジュール学習は教科の授業時間として、はなまるタイムは補充学習の機会として位置づけられています。応用的な課題にチャレンジしたり、課題をさらに掘り下げて深めたり、といった機会も、算数の習熟度別指導や個別学習等の学習形態の工夫によって、もっと充実して頂くことができると思います。

#### <教職員の不足・欠員について>

・教員の数が不足しているように感じます。先生がもう少し余裕を持って勤務できるよう改善を求めます。  
・子どもは算数の授業をもう少しゆっくり進めてほしいと言っているので、前みたいにクラスを分けてやっていただけた方が、私の子どもにとってはありがたいです。

吹田市の公立学校のクラス数と教員の数は、学校に在籍する児童の数によって、法に基づいて決定されており、法律に基づき大阪府が配置します。また、吹田市で採用し配置されている教職員もいます。学校には採用や配置についての権限はありません。そして、大阪府下では教員の人員不足が慢性化しています。吹田市も同様で、教員の人数が足りない欠員が生じている学校がでてきています。

今年度スタートから本校も欠員状態でした。担任の不在は回避できたものの、算数少数指導のポジションは不在の状態でのスタートで、欠員が解消できたのは2学期末でした。人員不足解消は学校にとって緊急の課題です。

#### <連絡・行事予定について>

・朝の連絡帳を書く仕組みについて、遅めの登校では連絡帳を書ききれない事が多く、その為、8時より前に登校したがります。連絡帳を学習の一貫として取り組んでいるにしては誤字脱字が多く、字も乱暴です。毎日チェックが出来ないようなら、低学年は親に一斉配信をするような仕組みを作ってもらえると助かります。

・懇談会、参観日、行事のスケジュールと持ち物（自宅で単発で用意するもの）などの発信をもう少し早めに教えて頂きたいです。仕事の調整が毎度大変なのと週末しか持ち物の買い出しが基本できないのが理由です。

・月の予定が出るのが遅いと感じます。未就学児がいて園は中旬頃には予定が出るので月末過ぎると予定が立てづらいです。

iPad を宿題・連絡等で活用していきますが、一方で、自分で連絡帳を書く習慣を身につけていくことも獲得してほしい力です。ICTの利点、書くことの重要性、どちらのバランスも考えて、学年や担任によって偏ることのないよう、本校の系統性に沿って取り組んでいきます。

行事予定については、できるだけ変更の無いよう、最終決定が済んでからの掲載にしております。本校の場合、毎月後半から下旬にかけての職員会議で詳細が決まってくる行事があり、学校だよりの発行はどうしても月初になってきます。学校だよりの行事予定欄では、翌月の大きな予定についても掲載するようにします。

### <暑さと行事について>

- ・年々、夏の暑さが増しているため、これからは校外学習などは臨機応変に変更や延期などをしてほしい。
- ・夏期のプール授業についてもっと実施してほしいと思っています。もっと6月早期に始める、早朝に行う、9月後半まで実施する、簡易の屋根を作る（難しいでしょうけど）など工夫をお願いします。

暑い時期だからこそ設定できる学習活動、暑い時期を避けた方がいい学習活動、時期を検討しながら、年間の各教科の決められた指導時数も併せて、計画していきます。

水泳学習については、本校の場合は午前中に時間割を設定できるため、暑さによる中止が少なく実施できています。クラス数の多い学校では、水泳の時間割も気温がピークの午後の時間にも設定せざるを得ません。また、最暑期には教職員が朝からプールに注水し、水温が上昇するのを緩和しようと対応することで、中止を回避しながら水泳の時間数を確保しています。

### <行事・たて割り活動について>

・運動会や音楽会などの行事では、子どもたちが自主的に活動して楽しんでいる姿が印象的で、おかげさまで息子も練習から嫌がらずに楽しく取り組むことができました。お掃除などでの他学年の子との交流もとても良いと感じています。地域で中学年や高学年のお兄さんお姉さんと会った時も息子は喜んで、相手の子も挨拶をしてくれて、素敵だなと思います。人数が少ないゆえに交流が密なものなのかとも思いますが、今後もし人数が増えることがあってもこのような縦の関わりは続いて欲しいと感じています。

・運動会や音楽会など様々な行事で、子どもたちの思いを最大限に取り入れて下さっているのを感じ、生き生きとやり遂げる姿を見ていていつも胸が熱くなります。

また、学年を超えたかかわりや、やまばと学級のお友達とのかかわりも、子どもたちにとってとても大きな財産になったと思います。

本校では子ども主体を掲げて取り組んでいますが、行事はもちろんのこと、委員会活動やたて割り清掃、ペア学年などの学年を超えたたて割り活動こそが、子どもたちがつくっていく活動である、つながりを広げる場である、日常の活動である、という点で子ども主体の要だと捉えており、大事にしています。

### <学校の取組・教職員について>

- ・入学前よりも不安や疑問が解消されていく1・2学期でした。ありがとうございました。
- ・学級だよりを出してくださり、クラスの様子がわかってありがたいです。
- ・毎日、楽しく学校へ行っています。ありがとうございます。
- ・担任の先生のおかげで、毎日楽しく学校生活を送っている様子が子供から伝わってきます。学習指導にも力を入れていただいております。先生には感謝しかありません。
- ・相談させてもらったことなど、すぐに対応して下さって感謝しています。
- ・毎朝、1番に教室に着きたいらしく、楽しく学校生活を送れていると思います。
- ・参観など、いつも楽しく子どもから学校での話を聞いています。校長先生も教頭先生もイベントと一緒に参加されている姿を見ると、とても素敵な小学校だなーと思っています。
- ・担任の先生をはじめとして、学校全体の先生方が子どもをよく見てくださってお声かけくださるのを感じます。また、シンキングエラー、アンバランスパワーなど、いじめの構造から低学年にもわかりやすく教えてくださるので、子どもたちはしっかり自分の頭でいじめについて考えることができているようです。とてもありがたく思います。
- ・新しい環境や、人との接し方に最初は大きな壁を抱いていたわが子ですが、朝は校長先生に励まして頂きながら、そして担任の先生には彼の個性を尊重して頂きながらも伝えることは都度丁寧に何度も伝えて下さり、お陰様で4月の頃には想像出来ないほど多くのことを学び、吸収し、そして成長してくれています。
- ・今年度の担任の先生は最初の懇談会で、クラスでの指導方針について明確に話されたのがよいと思いました。
- ・扱いにくい子どもを上手くコントロールしながら、クラス全体をみているのには頭が下がります。毎日家で、学校でのことを話しています。

・子どもと向き合い理解しようとしてくださり、とても良いと思います。生徒達が楽しんでる姿がとても素敵だと思います。大事な高学年の時期の成長を安心して見ていただける環境だと思います。

・担任の先生には、細かなトラブルなどにも気を配っていただき、お忙しい中、ありがとうございます。子どもたちの意見を尊重してくれる学校運営や、先生方の見守りやご指導のおかげで、息子もクラス内で自分の意見やカラーを臆することなく出せる子になりました。この2年間で培われた彼の財産になると思います。

・担任の先生が、本人の頑張りをよくみてくれているので、頑張りがいがあるようです。

・子どもの心に寄り添い、きめ細やかなご対応をいただき感謝いたします。学校全体で先生方がよくみてくださっているので、本当に有難く思っています。

学校の取組及び担任をはじめとする教職員に温かいお言葉をいただきました。教職員一同、活力として子どもたちに返していくとともに、今後も一層のご期待に応えられるよう、努力を続けていく所存でございます。

なお、今回取り上げることができませんでしたが、他にもこういったご意見をいただきました。掲載のみさせていただきます。

・引取訓練を何か他の行事のときに一緒にしていただけたら良いなと思います。

・給食を食べている様子も見てみたいです。

・あゆみの項目をもう少し増やして評価をしてほしい。結局何が苦手なのか、得意なのか分かりにくいです。

・学校で野菜を育てるのはとてもいい経験なのでこれからも続けて欲しいです。

・持久走の記録会ではなく、マラソン大会をやってほしいです。

・トイレを全て洋式にしてほしいです。

・こんなことを言っっては元も子もないですが、学校に行ってるのは親ではないので、学校内での事や先生の評価は、はっきりは分かりません。

・学力向上の取り組みに英語に触れる機会なども設定できたら、より身近に感じ、これから先、抵抗なく学んでいけるのではないかと思います。

・色々な学校で取り入れてる瞑想、マインドフルネスを毎朝やるのはどうですか？

・百人一首を覚え、新年に大会を開いて欲しい。

・質問内容が、私の求めている学校の役割とはかけ離れている（聞かなくてもよいことを聞いている）。残念に思う。

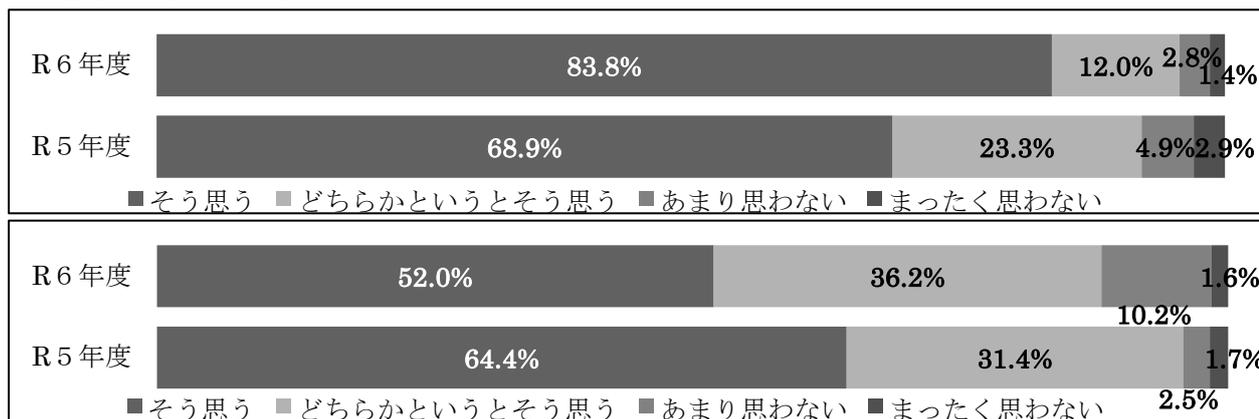
・小学校のトップである校長先生が、間違った判断をした時にそれを調査、評価して対処できるだけの組織がないからそれが今後の課題だと思います。現在の教頭先生のように、保護者、生徒に寄り添って話を聞ってくれる先生方がたくさんいたら安心できると思いました。

・保護者のためではなく子どもたちのための PTA 運営になるように高野台小学校の先生方にはフォローをお願いしたいです。

・トイレの清掃が行き届いていないため、こどもが学校のトイレに行くのに行き渋るため、トイレの清掃を PTA 費で外部委託するとか、保護者の有志で募るか、PTA 委員に美化委員をもうける等して、こども達が気持ち良く過ごせる学校にする方法を考えていただけたらと思います。

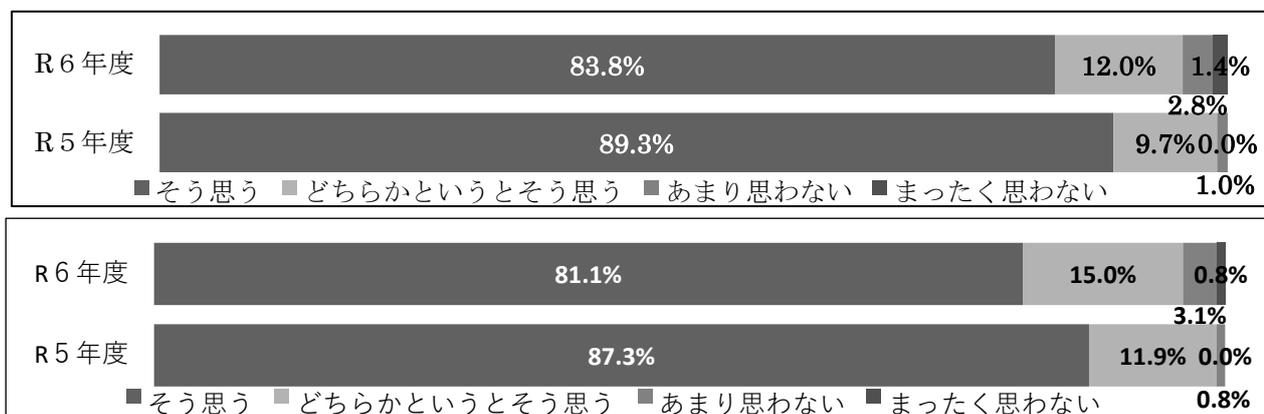
【児童アンケート】上表：低学年（1～3年） 下表：高学年（4～6年）

### 1. 学校へ行くのが楽しい



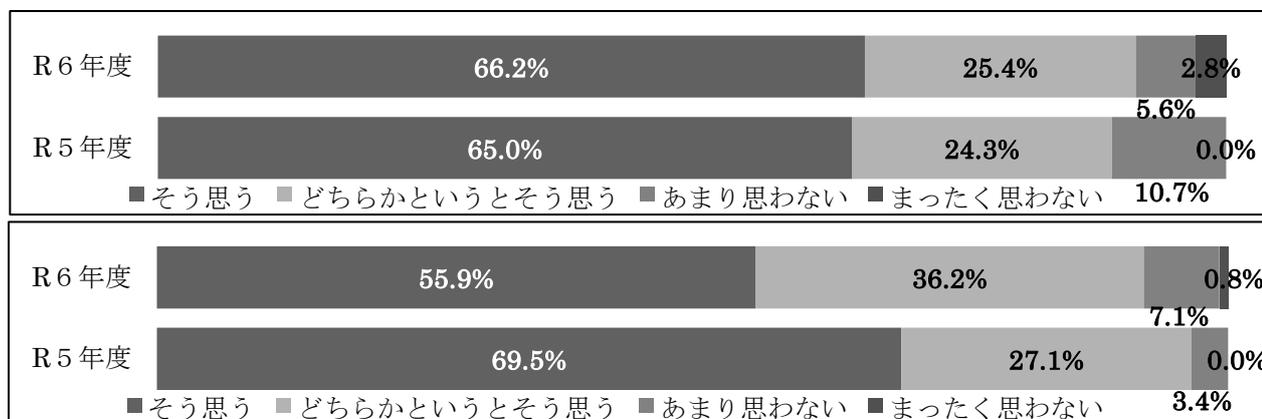
コロナ禍において、肯定的な回答の割合が低学年・高学年ともに下がっていたことを何とかしたいと思い、本校の取組を進めてきました。低学年で95%を超えたのとは逆に、高学年は昨年度95%を超えましたが、今回は88%となり9割を下回りました。今後も学校教育活動を充実させ、子どもの学習意欲を高め、よりよい人間関係を築き、よりよい学校生活を送れるように取り組んでいきます

### 2. 運動会や遠足などの行事は楽しい



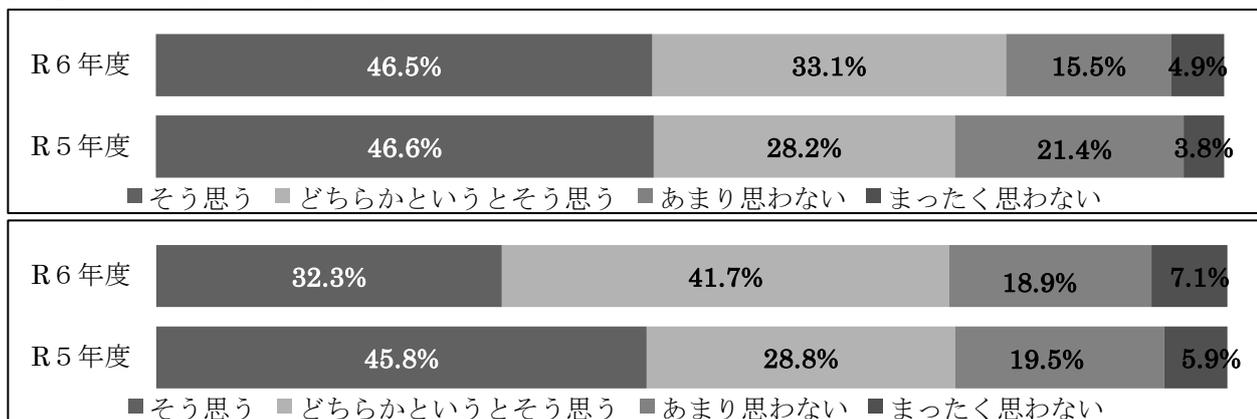
低学年も高学年も95%を超え高い数値となっています。小規模校の強みを生かしてきたこと、また、子ども主体をめざして進めてきました。いろいろな行事があることは、子どもたちの活躍の幅が広がることだととらえています。子どもたちが意欲的に取り組めるように見直しも行っています。

### 3. 先生は、自分のがんばったことを認めてくれる



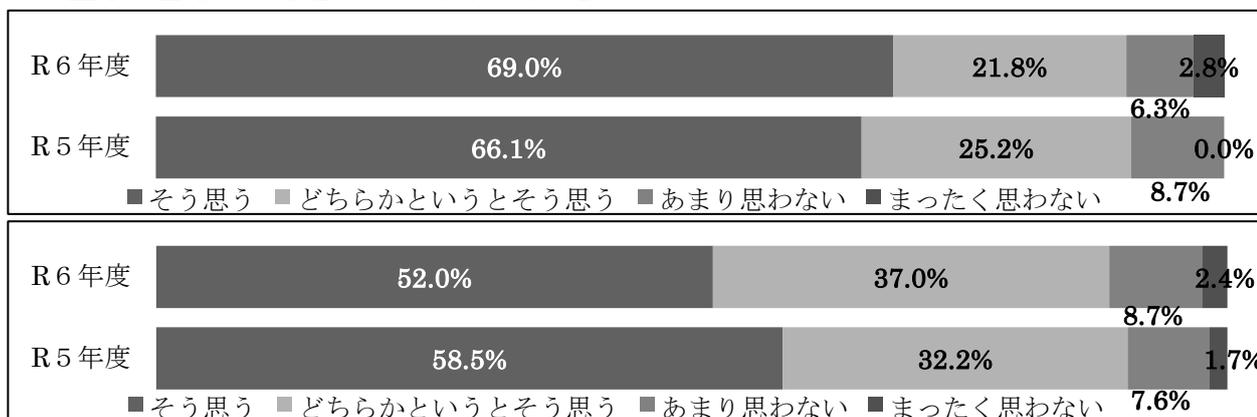
肯定的な回答の割合は、高学年ではやや下がり、低学年ではやや上がり、どちらもほぼ同じで約92%となりました。今後も、子どもたち一人ひとりを見ていねいに見取り、的確に褒め、自尊感情や意欲を高められるように努めます。

#### 4. 先生には、何でも相談できる



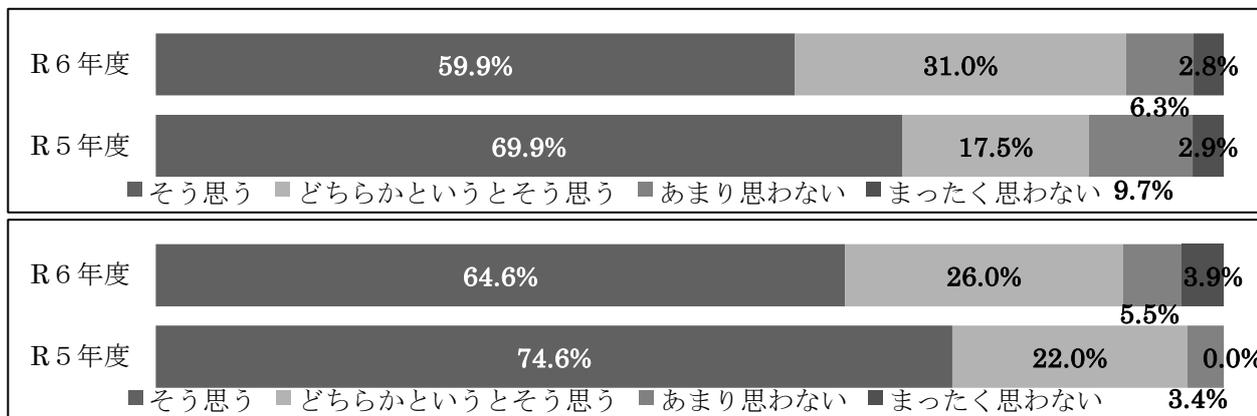
低学年・高学年で、肯定的な回答の割合が **79.6%・74.0%**です。昨年度との比較では、低学年では5%上がり、高学年ではほぼ同じですが、他の設問と比較してもどちらも低い方で気になるところです。ただ、高学年の肯定的な回答の割合は、R1年度以降で10%以上上がっています。高い数値とは言えませんが、子どもたちとの信頼関係を保ち、担任に限らずどの教職員にでも相談できる環境づくりを進めるように努めます。

#### 5. 先生は、自分のことをわかっている



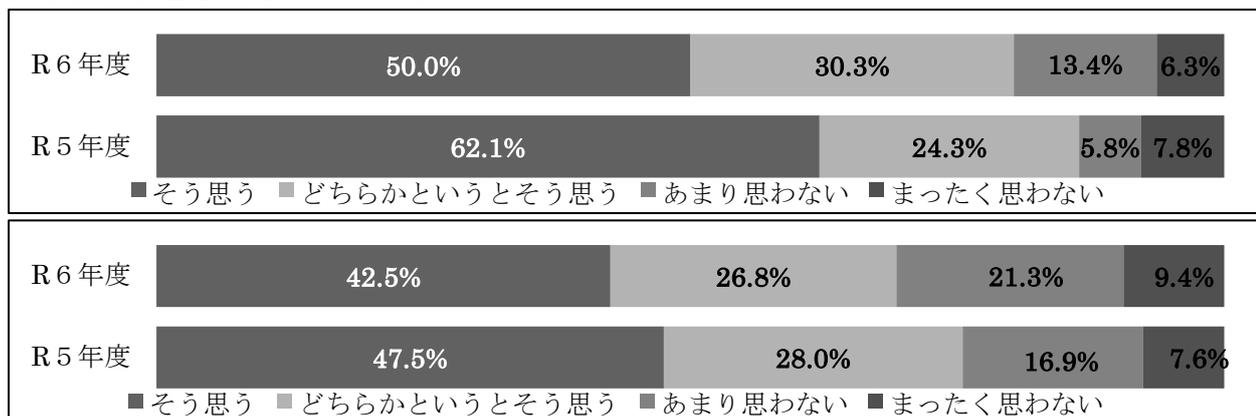
肯定的な回答の割合が、低学年では9割を超え、高学年では9割を下回りました。今後も、さまざまな場面での子どもたちへのきめ細かな見取りや対応を行い、信頼関係を高めるように努めていきます。

#### 6. 授業は、わかりやすい



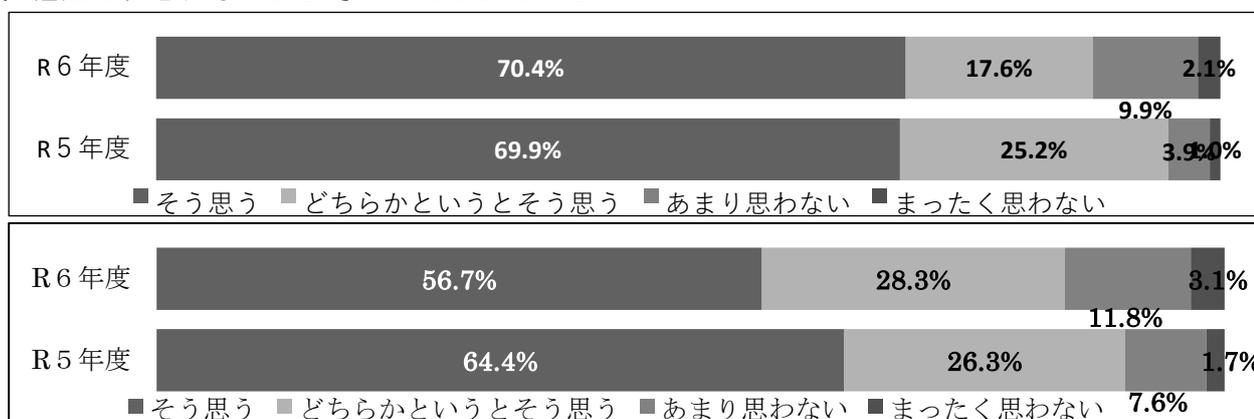
肯定的な回答の割合が、低学年では上がり、高学年では下がりながらも、ともに9割を超え、高い割合を保っています。学習用端末 (iPad) の導入によって学習活動の幅も広がりました。学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなることや既習内容の定着が学習理解につながることも踏まえ、授業力を高めるとともに、個に応じた指導や習熟度別指導の充実など学習形態や指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。

## 7. 早寝・早起き・朝ごはんに気をつけがんでいる



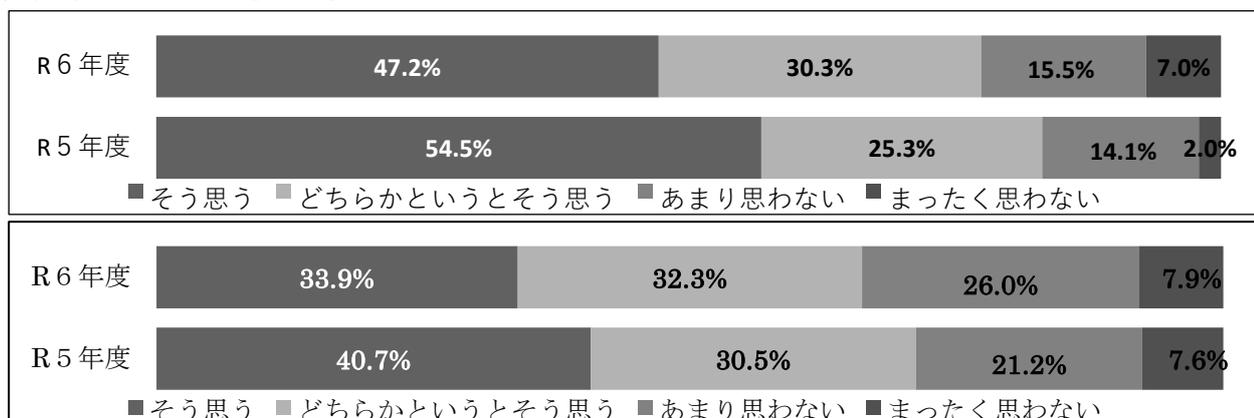
肯定的な回答の割合が、低学年・高学年ともに6%下がりました。結果、高学年では7割を下回り気になるところです。低学年・高学年ともに相当数の児童が、生活リズムが整えられていないようです。規則正しい生活を送ることは、心身の健全な成長に大きく影響します。学校でもよりよい生活習慣や規則正しい生活の大切さについて啓発していきたいと考えます。

## 8. 宿題は、忘れないよう毎日がんばっている



低学年でも高学年でも、肯定的な回答の割合が、9割を下回りました。低学年・高学年ともに減少しています。宿題については、学習内容の復習・家庭学習の習慣化という面からも大事だと捉えていますので、量や内容についても見直ししながら、家庭と協力して指導支援していきます。

## 9. 授業では、よく考え発表しようとしている

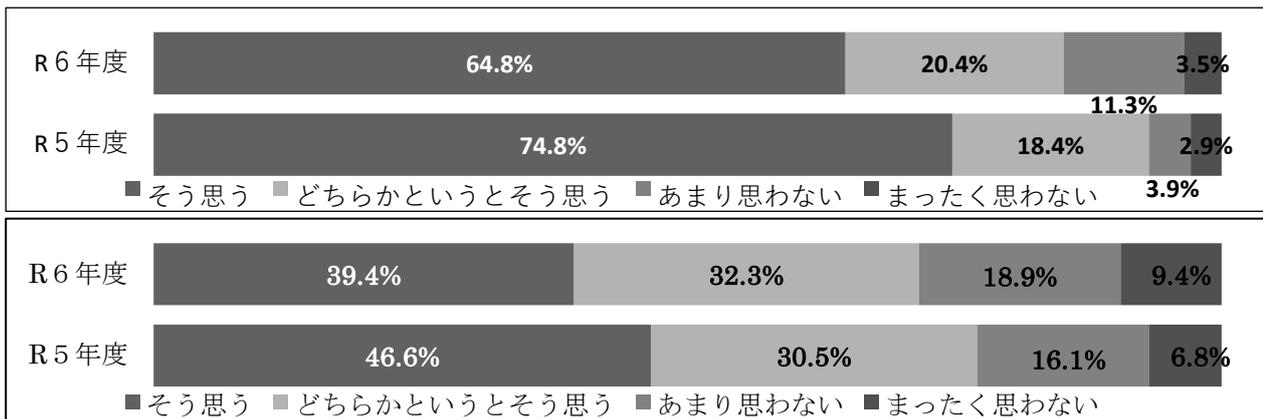


低学年の肯定的な回答の割合は、昨年度よりやや下がっています。8割に近い割合ですが、低学年では自分の考えを伝えようとする姿勢がもっと育ってほしいところです。高学年では肯定的な回答の割合はほぼ同じですが、否定的な回答の割合が28%もあり課題と言えます。

教育活動のさまざまな場面で、個々の子どもに応じて継続して働きかけることで、自尊感情を高め、自信を持って学習活動に取り組めるように促していきます。

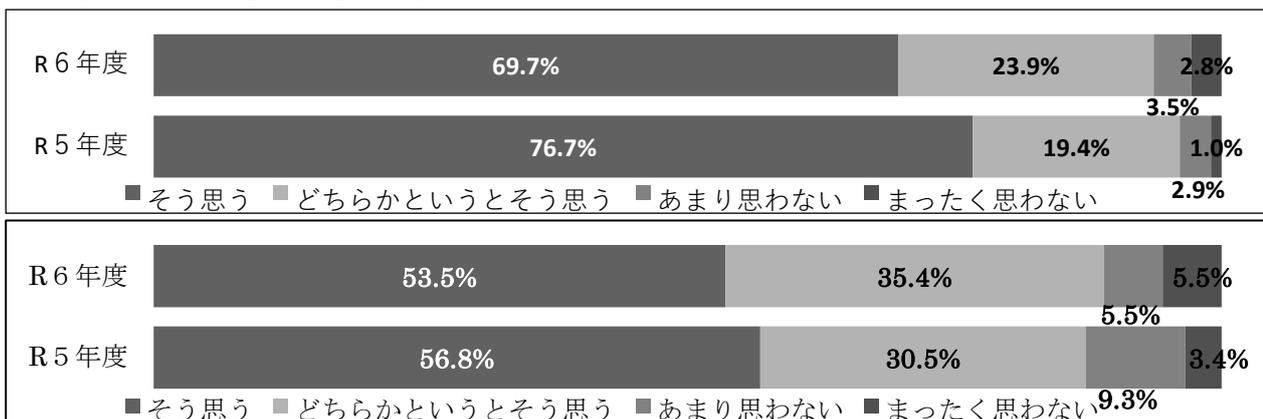
## 10. 本を読んだり、読んでもらうのが好きだ（低学年）

### 読書をするのが好きだ（高学年）



肯定的な回答の割合が、昨年度は低学年・高学年ともに上がったのですが、今年度はともに下がってしまいました。特に高学年では **71.7%**と低くなっており気になるところです。デジタルメディア含め様々な要因が考えられます。読書習慣は学力にも影響します。図書の時間、学校図書館の有効な活用や読書の楽しみを感じることでできる取組を進めていきたいと考えます。家庭でも読み聞かせや読書の機会を増やすようにしてください。

## 11. 問題をとくとき、あきらめずにがんばっている



肯定的な回答の割合が、低学年ではやや下がり、高学年ではやや上がりました。数値を見ると、粘り強く考えようとする姿勢が一定育ってきていると言えます。根気強く問題に向き合うことを学び、考えを深めることや達成感を味わうことができるように、授業改善、指導支援を行っていきます。

### ◇児童アンケートの結果から

\*概ね肯定的な回答の割合は高いと言えます。中でも、低学年・高学年ともに 90%を超えて高かったのは以下の設問です。

2. 「運動会や遠足などの行事は楽しい」 低：95.8% 高：96.1%
3. 「先生は自分のがんばったことを認めてくれる」 低：91.6% 高：92.1%
6. 「授業はわかりやすい」 低：90.9% 高：90.6%

\*肯定的な回答の割合が

A. 低学年・高学年ともに増えた設問

4. 「先生には何でも相談できる」

B. 低学年・高学年ともに減った設問

7. 「早寝・早起き・朝ごはんに気をつけている」
8. 「宿題は忘れないよう毎日がんばっている」
9. 「授業はよく考え発表しようとしている」
10. 「本を読んだり、読んでもらうのが好きだ」

C. 低学年は増えた・高学年は減った設問

1. 「学校へ行くのが楽しい」
3. 「先生は自分のがんばったことを認めてくれる」

## 6. 「授業はわかりやすい」

### D. 低学年は減った・高学年は増えた設問

#### 11. 「問題をとくとき、あきらめずにがんばっている」

- \* 「先生には何でも相談できる」(設問4)での肯定的な回答の割合が、低学年・高学年ともに昨年度より上がってはいますが、他の設問と比べて低いです。子どもたちが一人で抱え込むことのないよう、人と人とのつながりを土台とした信頼関係を築くべく、教職員で共通認識を持って子どもたちに寄り添いながら、指導支援に取り組んでいきたいと考えます。
- \* 「授業はよく考え発表しようとしている」(設問9)での肯定的な回答の割合が、低学年・高学年ともに他の設問と比べて最も低くなっています。学習において、挙手による発言だけでなく、さまざまな方法によって、子どもたちの多様な考えが交流されることは、子どもたち自身の豊かな学びにつながります。それには、いろいろな考えが生まれる発問、考えたくなるしかけ、安心して発言できる雰囲気、などの要素が不可欠です。こうした場面を授業の中に仕組んでいながら授業づくりを進め、子どもたちのやってみようという気持ちを後押ししたいと思います。
- \* 高学年では、「早寝・早起き・朝ごはんに気をつけている」(設問7)「授業はよく考え発表しようとしている」(設問9)「読書をするのが好きだ」(設問10)での肯定的な回答の割合が他の設問と比べて大きく下回っています。特に生活リズムが安定していることについては、心身の健全な成長に大きく影響します。また、読書週間については、学習面だけでなく、表現力、想像力、思考力といった力を育てていくうえでも支えとなるものです。学校でも啓発していきたいと考えます。
- \* 生活規律、学習規律の確立をめざし、教育活動全般を通して道徳性を養い、規範意識の醸成を図ります。
- \* 自分の考えや思いを伝えることやコミュニケーションが苦手な児童がいます。教育活動全般を通してコミュニケーション力を高める機会を増やし、子ども自身がよりよい人間関係を築こうとする意識醸成を図り、よりよい学級集団づくり、学校づくりに努めたいと考えます。
- \* 自分の考えや思いを発表する機会を充実させて、間違ってもそれを認められ、安心して伝えることのできる集団づくりを進めます。
- \* 相手の気持ちに寄り添い受け止めることができる子どもを育てるため、日々の学習活動や集会などを通して、傾聴力、「目(相手を見て)と耳(耳をすませて)と心(相手の気持ちを思いながら)で聴く力」を培っていきたいと考えます。